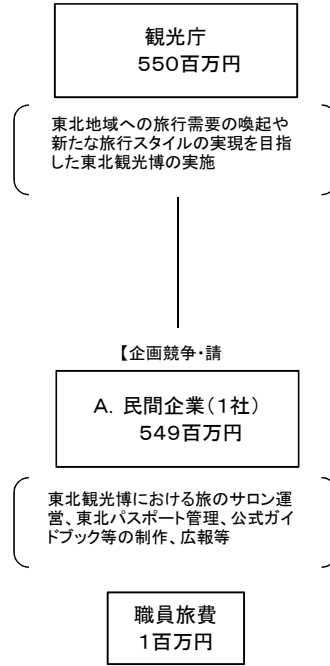


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省、復興庁)

事業名	広域連携観光復興対策事業 (東日本大震災関連)		担当部局庁	国土交通省観光庁観光地域振興課 復興庁統括官付参事官(予算会計担当)			作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室				課長 七條牧生 参事官 尾関良夫
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		施策名	20 観光立国の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本法第12~14条		関係する計画、 通知等	観光立国推進基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	東日本大震災により落ち込んだ東北地域への旅行需要の回復と、地域を活性化させる新しい観光スタイルとして従来の観光スポットを巡る観光だけでなく、地域が主体となって、その歴史・文化・くらしなどを観光資源として活かし、地域の「日常生活」に観光客が回遊する滞在交流型の観光への転換を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	平成25年3月末まで、東北地域全体を一種の博覧会会場と見立て、28箇所のゾーンを核とし、官民を挙げた一体的な取組を実施 ※平成24年度は、復興庁で一括計上し、国土交通省で執行する事業である。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	550	250(復興庁計上)	-
		繰越し等	-	-	0		
		計	-	-	550	250	-
	執行額	-	-	550			
	執行率(%)	-	-	100%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	旅行者の震災前水準への回復 ※H24年度の事業終了時		成果実績 億人	-	-	-	1.2
			達成度 %	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、地域と観光客の交流がより促進される新しい観光スタイルの実現を目指し、地域が主体となって持続的に推進できる仕組みの定着を図るものであるため、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)	活動実績について、本事業は平成24年度末までであるため、平成23年度としての数値計上は行っていない。			
単位当たり コスト	548,869,744(円/一式)		算出根拠	平成23年度東北観光博事業執行額548,869,744円			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国内旅行需要促進対策庁費(復興庁計上)	247,759					
	職員旅費(復興庁計上)	2,241					
	計	250,000					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業では、国・地方・民間の役割が以下のとおり適切に分担されている。 国→全体事業としてより効果的な統一した情報発信 地方→広域連携による取組で効果的・集中的な集客 民間→東北地方への送客強化
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	地域を活性化する新しい観光スタイルの実現のため、従来の方法から跳躍した斬新かつ現実的なアイデアを駆使した提案を必要とするため一般競争ではなく企画競争を行ったが、複数者の応募があり競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	情報発信のためのポータルサイトや公式ガイドブック等、成果物は十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業で行っている東北観光博は、H24年1月～H25年3月末までの期間に年度をまたいで実施しているため、H24年度も引き続きこの取組を継続し、事業目的の推進や成果目標の達成を目指す。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当該事業で実施している東北観光博については、平成24年度で終了となるため廃止とするが、事業効果の検証結果を踏まえて、地域が自立的に事業展開を行うような措置を講ずるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	チーム所見を踏まえて廃止する。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興-0052

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	東北観光博実施経費	545			
人件費	コールセンター、東北現地事務局	4			
計		549	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェイアール東日本 企画株式会社	東北観光博における旅のサロン運営、東北パスポート管理、公式ガイドブック等の制作、広報等	549	随意契約 (企画競争)	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					